

西教寺進徳日曜学校だより

西教寺蔵本通支坊 2004.10.2 呉市中央7-7-13 TEL21-2798 E-mail:chinei63@enjoy.ne.jp

今日したこと

- おはなし
「おかあさんのおねだり」（仏教子ども新聞）
- ゲーム「じゃんけん灰ヶ峰登山」「いってらっしゃい」

◎共感について- その2 -

いつだったか「聞く」というテーマで、人の話を聞くコツは「気持ちを聞く・感情を聞く」ということだ、ということを書いたことがあります。確かこういう話でした。

テレビゲームデビューをした息子の慧（さとる・長男）が、ゲームの専門用語を駆使して嬉しそうにその話をしてくれるのですが、私には何のことやらサッパリ分かりません。お風呂に入りながら聞いていたのですが、「コイツは何を言っているんだ？」と半分聞くのがイヤになっていた時、カウンセリングの研修で「気持ちを聞け」と習ったのを思い出しました。思い直して話を聞いてみると、専門用語は全く分からないのですが、どうも「昨日は頑張ったけど上手くいかなかったので悔しかった」という話をしているらしいことが分かりました。そこで「気持ちを聞く」のですから「気持ち」は「悔しかった」という気持ちを押さえるのだなと思い、「上手くいなくて悔しかったのか？」と聞き返すと、ニコッと嬉しそうな顔をして大きく「ウン」とうなずきました。話が通じたと思ったのか、話題は昨日から今日の話に移行しました。同様に専門用語は全く分かりませんが「今日は工夫したらうまくいって嬉しかった」という話をしているようです。そこで「嬉しかったのか？」と言うと、ニコリ笑って「ウン」と大きくうなずいてくれました。

「おーっ、これはいける」、世代は離れていてもコミュニケーションは取れる。「気持ち・感情」は共通なんだ、という話だったと思います。今日は続編です。

今は、運動会のシーズンです。慧（さとる・3年生）によりますと、「かけっこ」の練習をしているらしいのですが、実力伯仲のようで、順位が毎日入れ替わります。練習で「ドベ」だった日は、声のかけようのないほど落ち込み、また「2番」だったりするとうれしそうに帰って来て話してくれます。毎日一喜一憂しています。

先日、パソコンで寺報を作っている時に慧（さとる）が帰って来て、いつものように今日のかけっこの話をはじめました。しかし、寺報の追い込みであったので、半分上の空で「ウンウン」と聞いていました。

その日の順位は今ひとつだったようで、「ガッカリ」した感じで話していました。私としては「気持ちを聞けばいいのだ」と思い、「そうか、ガッカリしているんだな」と声をかけましたが、返事がありません。しばらく話を聞いていたのですが、慧（さとる）が「もういい」といってよそへ行こうとします。「あれっ」と思い「どうしたの？」と尋ねると、息子が不満そうに話してくれました。ボキャブラリーのない話でしたので、言葉通りではありませんが、要約すると「上の空で聞いているから話していても面白くない」ということでした。

そういえば、話を「聞く」コツには「受容・共感・自己一致」の3つが大切だ、と習ったことを思い出しました。いくら形の上では気持ちを押さえられていても聞く側が心から「共感」していないと、相手は聞いてもらえたという実感がわからないというのです。言われてみると当たり前の話ですが、私の気持ちは寺報作成に集中していて、息子の「気持ち」には全く「共感」してはいませんでした。ゲームの話とかかけっこの話と、あまりに対照的だった慧（さとる）の反応に、驚いて反省させられるとともに「共感」して聞くことの大切さを感じました。

親子のコミュニケーションをはかるには「気持ちを聞く」こととともに「共感する」が大事だということを経験したという話でした。

次回は10月17日（日）9時～10時です。

その次は11月6日（土）9時からです。

第49回全国児童作品展応募の締め切りは10月17日（日）です。どしどしご応募下さい。



クレヨンしんちゃんのものまねをする由佳里ちゃん。